

#### 4 「市長への手紙」(新潟市が実施する広聴事業)として寄せられた意見等 (行政区画審議会設置後)

##### (1) 地区割り、地区名、地名保存、歴史を大事にしてほしい(5月9日受付)

明治以来、わが国の地名の変遷を見ますと、歴史を消していく作業をせっせとして来たと言えます。特に歴史的な観点に対し消極的な県民性もある中、官庁サイドだけでも歴史を大事にする姿勢を保って欲しい。新潟県には康平図という古代越後国を描いた地図が奇しくも残されています。その図に少ないながら地名が記されています。鳥屋野(島)、(蒲原)津、貝塚(島)、古津、船江及び土生田、鳥原等。

- ・ 鳥屋野： 海に近い沼沢地。各地の鳥が集って来る。その鳥を捕獲する為、人が隠れて鳥を待つ小屋を建てていた場所である。
- ・ 貝塚： 今の亀田地区はかつて汽水域で、貝が多く取れた事を伝える。大量の貝の処理場の可能性も。
- ・ 船江及び  
土生田： 赤塚地区にかつて有ったものが今(転々として)古町にある神社。五十嵐地区中濱が海に通じて、その海水が赤塚まで入江になっていた。赤塚に製塩(遺跡)が10世紀に存在していた。「新潟が西蒲原の湊」とは実はこの旧船江から起っている。
- ・ 蒲原津  
及び古津： 越後の言語では蒲(がま)は決して蒲(かむ)とは言わない。蒲と原は繋がらない、なじまない言葉です。蒲原(かむはら)は未だはっきり解明されていないと言えます。そうは言うものの、この広大な蒲原郡のもととなる蒲原の発生の地は新津丘陵です。旧新津市朝日が蒲原と関係する伝承あり。村松町大蒲原地区の名あり。新潟市蒲原町、蒲原神社は青海神社(加茂市)の二座だったものが分けられた結果ですし、しかも青海神社のもとは加茂市上条、即ち新津丘陵南端に近い尾登峠(村松町との境)です。旧蒲原津が古津と号し、新蒲原津が更に移転した際新津と名乗り、新潟市万代島にあった蒲原津が文献に現れるのは中世からです。

歴史ある地名の内、特に鳥屋野、船江、蒲原等は地区名に使えるのではないかと考えます。また信濃川はかつて西川、中(中の口)川、東川と大きく三本の分流でした。白根区とせずに中川区(信濃中川)とかの言い方もあると思います。1~数字区だけはやめてもらいたいものです。また最近はやりの桜ヶ丘、夢見ヶ丘調の区名は公募すると数が多いかもしれませんが、根無し草の地名です。文化はつる所の汚名は解消したいものです。地名保存は金をかけないで歴史を保存する好手段でもあります。市の歴史関係の職員は多数いらっしゃるし、私と同じ考え方の方々もおられると思いつつ、県地名研究会の一員として念の為にこれを書きました。

- (2) 区名は住民が誇りを持てるような、地域を一言で表せるようなものにしてほしい  
(7月4日受付)

区名を決定する際、中央区、西区、南区などという名称は採用せず、その地域に住む人が名称に誇りを持てるような地域に馴染みの深い名称、又はその地域を一言で表せるような名称にしていただきたいと思います。私は地名というのはその土地の歴史を表現しているものと考えており、現在の合併により多くの地名が消えているのを残念に思っています。又、中央区、西区などは単に市の中心部などから見て中央部、西方にあるといったことでしかなく、そこに住んでいる方に愛着が沸く名称ではないと思います。仙台市の青葉区、千葉市の美浜区や京都市東山区など、そこに住みたいと思うような素敵な名称になるようお願いいたします。

- (3) 区表記には旧市町村の地名を残してほしい(11月7日受付)

新・新潟市になり「政令指定都市」になった後の「区」の表記ですが、旧市町村の地名を残していただきたいと思います。合併した後の新・新潟市の地名は全く解らず「前の だよ」と会話している方々が多くいらっしゃいますし、決まってからでは遅い・・・言葉を換えれば「役所が決めた事だから・・・」と言われては困ります。長い歴史と愛着のある浸透している旧市町村の地名を区にさせていただきませんか？お願いします。